

堅田科学者会議のメモ

1962-4-27

(1) 4月18日の申合せにより三村剛昂氏に直に交渉、同氏は趣旨に賛成だが健康上の理由で堅田には出かけられないとの返事がありました。なお4月22日、湯川、朝永両氏が、軍縮における経済問題の重要性につき相談し、国連報告その他新しい動きを紹介してもらう目的で、都留重人氏に speaker を依頼することにしました。同氏は9日午前中出席し報告をして下さる旨返事があったことをあわせて御報告します。

(2) 堅田科学者会議について、4月28日午後3時、朝永・坂田両氏から、記者団に発表をおこないます。その際、湯川・朝永・坂田3氏からのよかけの手紙と、出席者名、趣旨賛成者名を公表します。なお会議中は、7・8日は午後6時、現地で当日の討論要旨を spokesman から発表し、9日午後5時には ~~共同会見~~ 出席者一同が共同会見をして、その席上、声明とメッセージを発表することにいたします。

(3) 資料

- 第1回 Pugwash 会議 Statement
- 第3回 Pugwash 会議 Statement (Wien 宣言)
- 「世界週報」1962年4月10日号(軍縮の社会的経済的帰結)の記事がある)を御入用の方は、
立教大学理学部物理教室 小川岩雄
あてお申込みください。
- 第3回 Pugwash 会議 Proceedings (960円)を御入用の方は朝永までお申込みください。

立教大学理学部理論物理 負付
堅田科学者会議事務局

A4×100

DIRECT COPY SYSTEMS

